

出力関数FORMAT

- 返値はNIL
- 副作用として画面やファイルにオブジェクトを出力
- 画面に出力するときは第1引数をT
- 出力するものは二重引用符で囲み第2引数（制御コードも書ける）

70

```
> (format t "Foo Bar Baz!")  
Foo Bar Baz!  
NIL  
> (format t "Foo~%Bar~&~&")  
Foo  
Bar  
NIL
```

71

```
> (format t "I have ~S ~S.~%" 3 'apples)
I have 3 apples.
NIL
> (format t "~S~%" (mapcar #'atom
                        '((or 3 4 5) and 9)))
(NIL T T)
NIL
>
```

72

入力関数READ

- (read) として使われた時, キーボードから1つのオブジェクト(記号, 数, リストなど)を読み込む. 返値としてそのオブジェクトを返す. キーボードから打ち込む値は評価されないので, 'を付ける必要はない.
- ```
> (setf value (read))
6 ; 入力
6 ; 返値
>
```

73

## 乱数

- `(random n)` で0から  $n$  まで(  $n$  は含まず)の乱数を発生する.  
`(random 5) ⇒ 3`  
`(random 5) ⇒ 1`  
`(random 5.0) ⇒ 2.32459`  
`(random 5.0) ⇒ 4.94179`
- 毎回同じ乱数列とならないためには  
`(setf *random-state* (make-random-state t))`  
と初期設定してから`random`関数を呼ぶ.